

特定非営利活動法人

東京シューレ

2017年度(第19期)

活動報告書



特定非営利活動法人東京シューレ

東京都北区岸町1-9-19コーエイビル 〒114-0021

TEL03(5993)3135 FAX03(5993)3137 E-mail : info@shure.or.jp URL : <http://www.shure.or.jp>

もくじ

ごあいさつ	理事長 奥地圭子	-----3
2017 年度 (第 19 期) 事業報告および決算について		-----4
■ 1. 2017 年度基本方針・重点目標をふり返る		
■ 2. 事業の概要		-----5
■ 3. フリースクール等の事業について		-----7
(1) 王子シューレ		
(2) 新宿シューレ		
(3) 流山シューレ		
(4) シューレ大学		
■ 4. ホームエデュケーションネットワーク運営事業について		-----12
■ 5. 高校コース事業について		-----13
■ 6. 東京シューレ大田ビル建設および大田シューレ開設準備事業について		-----13
■ 7. その他の活動について		-----15
■ 8. 団体の運営に関する報告		-----19
■ 9. 決算に関する報告		-----19
監査報告		-----24
2018 年度 (第 20 期) 事業の重点と計画		----- 26
■ 1. 重点目標		
役員の体制、スタッフの体制、委員会等		

ごあいさつ



NPO 法人東京シューレ理事長 奥地圭子

NPO 法人東京シューレ会員の皆様、ご支援・ご協力いただいている皆様、いつもありがとうございます。ごぞいます。

東京シューレは、1985 年開設以来、本年 6 月で満 33 年の月日を重ねてきました。小さな雑居ビルの一室から始まり、1999 年には東京都から NPO 法人の認証を受け、現在は、王子・新宿・流山・大田の各スペースをもつフリースクール部門と、ホームシューレ、シューレ大学のユニークな活動部門をもって、子ども・若者の学校外の学び・育ちの場となりました。このうち、大田シューレは、1994 年から 14 年間古民家で開室しておりましたが、今から 10 年前に閉室、塩漬け状態でいたところ縁あって建て替えが可能となり、今年 4 月、甦り、すでに子どもたち 10 人くらいがメンバーになっています。

また NPO 法人東京シューレが母体となり、学校法人東京シューレ学園を設立、東京シューレ葛飾中学校を開校、不登校支援の私立中学校として 11 年の歴史を刻んでおります。

東京シューレ内部の発展にとどまらず、社会の不登校への見方、考え方、子どもとのかかわり方に大きな影響を与えてくることのできたと思います。それは、東京シューレが、登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク、フリースクール全国ネットワーク、多様な学び保障法を実現する会、全国不登校新聞社など他団体と連携しながら、不登校をとりまく環境改善や多様な学びこそすべての子どもの学ぶ権利を保障するものであり、その仕組みを求める活動をしてきた、ということがあってできたことだろうと思います。

2016 年には教育機会確保法が成立、休みの必要性や学校以外の学びの重要性が明記されました。そして、「不登校は問題行動ではない」との全国通知が文科省から出されたり、学習指導要領にも記され、学校復帰一辺倒の不登校施策が、今ついに変わってきているのです。東京シューレの見学や問い合わせも「フリースクールもありかな」という雰囲気、小中学生の子どもを持つ若い親御さんが増えています。法律にも盛り込まれた公民連携の方向が実際的になってきており、今、東京シューレは北区や世田谷区で適応指導教室の運営に協力するなど、歴史的には考えられなかった変化のただなかにあります。

しかし、公的支援を受ける道筋も実現せず、親の負担軽減や一人ひとりの子どもが安心して自信をもって成長するにはどうしたらいいか課題がまだまだです。ひきつづき、皆さまのお力添えを得て、変化をさらに一歩進めることができましたら幸いです。

2017 年度（第 19 期）事業報告及び決算について

■ 1 2017 年度の基本方針・重点目標を振り返る

下記の重点目標を設定して 1 年間取り組んでまいりました。

重点目標と成果

〔重点目標 1〕 会員増、ニーズの高まりに対応する適正なスタッフ体制や環境づくりを行う

- 常勤スタッフ 2 名（王子涌坂甚平さん、新宿石垣慧さん）の新規採用を行いました。
- サポートスタッフを継続採用し、各スペースとも体制を厚くしました（部門によっては必要に応じて計画以上を配置）
- 説明会参加者の動向では初等部が増加し、フリースクールへのアクセスがしやすくなっている社会状況が生じていると見られる一方、子どもの入会まで時間を必要とする傾向や入会に至らないケースも多くみられました。そのため、説明会後懇談会を 11 月より毎月実施し、保護者とのつながりを継続するしくみを作った結果、2~4 月入会につながるケースがみられました。

〔重点目標 2〕 教育機会確保法や文科省の施策に対応する取り組みを推進する

- 年度間は義務教育年齢の受け入れに重点を置き、活動・学習の充実を進めました。（フリースクール各スペースとも初等部が増加充実した。ホームシューレも小中学生が増加）
- 北区政策提案協働事業の採択、新宿区教員研修、千葉県ネットワーク、大田シューレ開設等、行政との垣根が下がり連携の方向が明確に見え出しました。2016 年度東京都委託事業の実績も大きく寄与しました。
- 適応指導教室の民間委託などに応募するなど事業連携にも着手できました。
- 会員在籍校との連携強化・担任説明会開催などの連携も定着、進展しました。
- フリネット、実現する会等との連携も推進できた。実践研究フォーラムでは東京シューレの実践を全国に発信できました。

〔重点目標 3〕 一人ひとりの多様な状況や個別性にそった学び・活動づくりを促進する

- 家庭（学校以外の学習の場[教育機会確保法]）での学びやホームエデュケーションを広げる取り組みを進め、ホームエデュケーション集会の開催（5 月）、会員間の活動が充実しました。
- フリースクールではサポートスタッフ体制の充実で個別学習や相談、実験ものづくり、音楽、イラストなどの学びが深まりました。個別タイムによる取り組みも充実しました。

〔重点目標 4〕 大田建物新築とスペース開設準備を行う

- 建物建設、保育事業者提携を計画どおり実現し、3 月 15 日引き渡し、3 月 27 日お披露目の会（竣工式）を開催、地域・行政・議員・区民団体 NPO との連携の基盤づくりを促進できました。
- フリースクール開設寄付募集を行い、2,435,000 円のご寄付により、電話・インターネット設備、備品の購入、ホームページ作成など開設準備を進めることができました。
- 2017 年 5 月に経験者によるシンポジウムを開催し親の会をスタートさせ、2 月、3 月に大田シューレ説明会を行って会員募集を開始しました。
- 認可保育所貸付事業が収益事業となることから定款変更を行い認証されました。

〔重点目標 5〕 広報・運営基盤強化（ファンドレイジング）の取り組みを推進する

- 東京シューレ代表ホームページを新規に作成し、発信力を強化できました。ツイッター、Facebook、ブログ発信も充実できました。
- 大田開設寄付、奨学基金の募集を行い、関係者を中心に 487 万円の協力を得ることができました。
- 理事会では、2018 年度に向けて、ブランディングやファンドレイジングへの取り組みがスタートしました。
- APDEC、JDEC、フリフェス、実践研究フォーラムなど、シューレが中核を担った活動は、東京シューレの広報にも寄与しましたが、さらにフィードバックさせるような工夫も課題となりました。

■ 2 事業の概要

2017 年度（第 19 期）においても、「フリースクール事業」と「ホームエデュケーションネットワーク（在宅不登校支援事業）」を基幹事業として多様な活動に取り組んできました。

(1) 会員数等の動向

2017年度在籍者数 ()は2016年度

	王子		新宿		流山		ライフデザイン		シューレ大学		ホームシューレ			
	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年度末	
説明会申込者数	260 (263)								14 (10)					
説明会参加者数	187 (185)								12 (8)					
入会者数	25 (34)		12 (6)		6 (7)		1 (0)		4 (9)		51 (39)			
在籍者数	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年度末	
初	14 (16)	14 (15)	7 (7)	5 (5)	16 (13)	14 (12)							ファミリー 123 (126)	104 (102)
中	24 (21)	19 (20)	14 (15)	13 (6)	3 (2)	3 (2)	2 (1)	1 (1)	31 (36)	29 (35)	ハ°アレント	108 (94)	97 (82)	
高	62 (64)	54 (64)	28 (22)	22 (18)	7 (8)	7 (8)								
計	100 (101)	87 (99)	49 (44)	40 (29)	26 (23)	24 (22)	2 (1)	1 (1)	31 (36)	29 (35)	0	231 (220)	201 (184)	

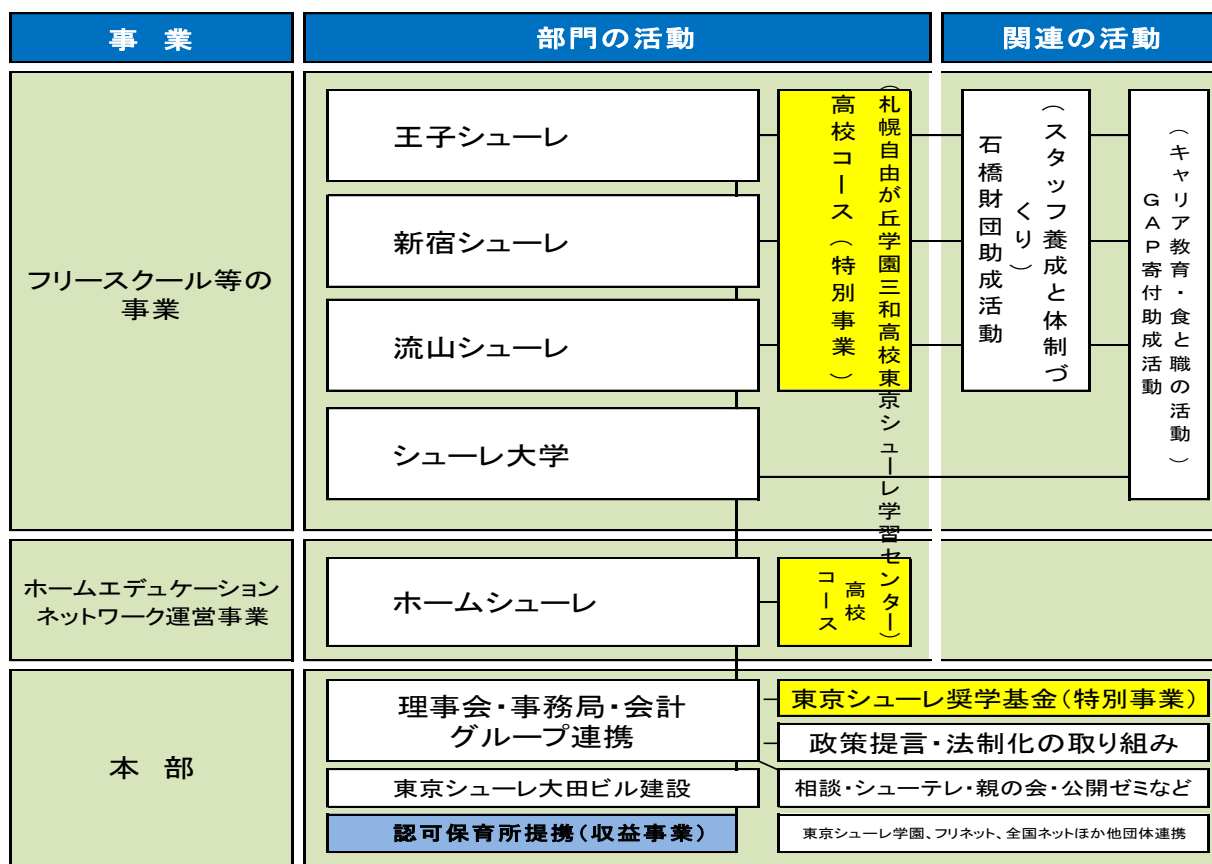
(2)

(3) 東京シューレの 1 年

2017	こんなことがありました
4月	高校コース入学式 英国サマーヒルスクール 来日公演・シンポ開催 (APDEC プレイベントとしてシューレ大学生が企画運営) セールスフォース・ドットコム社の社会貢献によるプログラミング講座スタート
5月	ホームエデュケーション集会「家で育つ子どもたち」開催 (北とびあ) 大田親の会発足、子ども若者シンポ開催 (大田区産業プラザ) スポーツ交流会 (葛飾中学校) 流山親の会・奥地圭子講演会開催 (流山シューレ)
6月	NPO 通常総会 フリースクール全国ネットワーク総会
7月	新宿シューレしごと体験 会総会 ホームシューレコース北海道スクーリング 納め会 東京シューレ大田ビル着工 実現する
8月	JDEC 日本フリースクール大会、APDEC アジア太平洋フリースクール大会開催 (オリンピックセンター) ホームシューレ卓球オフ会 全国ネット・子ども交流 東京早稲田大会 動画「学校に行くことは義務じゃない」に込めた思いを発表 第 10 回シューレ大学国際映画祭 八丈島合宿出発

9月	夏休み明け 子どもの命を守るキャンペーン 取材多数 八丈島合宿台風で延泊 流山、地震車で避難訓練実施 王子シューレにコミュニケーションロボット「オリヒメ」導入	
10月	文科省児童生徒課長視察 演劇「ハードレイン」上演(葛飾中学校) さん講演会 ホームシューレ全国合宿 シューレ大学研究イベント ハロウィンパーティ	登校拒否・不登校の全国ネットで前川喜平
11月	王子シューレしごと体験 フリースクールフェスティバル(秋の陣) いろいろタイムでネットフォックスハンティング	
12月	子どもの権利条約フォーラム参加クリスマス会 AED寄贈を受け講習会 シューレ大学演劇公演 盟合同総会	超党派フリースクール等議員連
1月	新年会 茂木健一郎さん講演会 丹羽秀樹文部科学副大臣視察 フリースクールコース北海道スクーリング フリースクールフェスティバル(冬の陣・音楽祭)	
2月	自殺防止キャラバン「自分に生まれてよかった」開催(蒲田) シューレ大学絵画展、ホームシューレ掛川サロン スキー合宿、 ラム	多様な学び実践研究フォー
3月	王子シューレ活動発表会 シューレ大学ターン展参加・創作発表 旅立ち祭、高校コース卒業式、シューレ大活動報告会 さん講演会 東京シューレ大田ビル完成、お披露目の会開催 新宿シューレ音楽イベント 合同会議	全国ネット世話人交流・堂本暁子 文科省フリースクール等検討会議・不登校調査研究協力者会議

(4) 2017 年度の事業・活動全体の様子



■ 3 フリースクール等の事業について

3 スペースを週 5 日で開設し、6 歳（小 1）～23 歳（入会は 20 歳まで）を対象に受け入れ、初等部・中等部、高等部と高校コースを置き、子どもミーティングで活動や学習を決めていく子ども中心の学びを継続・発展させました。どのスペースも会員数が増え、150 名を超えて、過去最大の会員数となりました。

（1）王子シューレ

子どもの個々の興味・関心を個別タイムやチュートリアルで深め、ミーティングの場を通して共同的な学びや活動に発展・充実した年度でした。サポートスタッフや外部講師、ボランティアの方々の継続的な関わりで、スタッフ体制を手厚くできました。一方、主に在宅で過ごす会員や準会員に向けた取り組みや進路づくりに向けた取り組みは課題として残りました。年間を通じて説明会参加や体験見学が多くありましたが、予測よりも入会が少なく、特に女子会員比率の向上に至りませんでした。11 月より説明会後懇談会を開催することで体験見学・入会が増えてきています。

① 個々のニーズや関心に応じた協同的な学びへと発展した取り組み

学生 N P O サイエンスリンクによる実験ボランティアやサポートスタッフによる実験講座、英会話、イラスト講座、数学などが充実し、初等部の料理講座、プログラミング講座（セールスフォース・ドット・コム社提供）、哲学、音楽活動などが発展しました。新しくスポーツの時間の定着、シンガポールプロジェクト、おかしサークル、マイクラフト講座、映画サークル、ネットワークスフォッキングなど、個々のやりたいことから協同的な学びに展開したのも多く生まれました。また、昨年度の演劇講座から発展し、会員が劇団で主役を務める演劇公演をシューレ中学校の体育館で実現できたことも、貴重な機会となりました。

② 夏合宿・自然・地域に触れる学び

農業体験（田植え、稲刈り）、八丈島合宿、北区王子周辺散策など、自然や地域に触れる学びが充実しました。とくに夏合宿は 3 月から実行委員会ができ準備と学習を重ねる人が参加、台風に見舞われましたが、保護者や町・地域のサポートをいただき貴重な体験がたくさんできました。

2017	こんなことがありました
4 月	新学期スタート、各部での歓迎会
5 月	スポーツ交流会
6 月	田植え体験、32 周年祭
7 月	JDEC
8 月	APDEC、担任見学会、子ども交流合宿 八丈島合宿
9 月	2 学期スタート、韓国龍仁市青少年自立支援センター「クムドリム」来訪交流、スポーツ交流会、
10 月	ハロウィンパーティ、農業体験
11 月	打楽器隊 C-Rights25 周年に登壇 フリフェス・秋の陣、 第 1 回ネットワークスフォックスハンティング
12 月	フリースクールフェスティバル（冬の陣） クリスマス会、
1 月	3 学期スタート、新年会 高校コース本校スクーリング
2 月	スキー合宿、ママ食堂 韓国「文化行動シャブ」来訪交流
3 月	活動発表会、フリースクール旅立ち祭 高校コース卒業式

③ APDEC や子どもの権利条約フォーラム、活動動画ブログ発信などを通じた自分たちの経験を発信

夏の APDEC や韓国からの来訪（2 回）では、海外の同世代の仲間と出会い、お互いの文化や経験、活動を知り合い、交流する機会が持てました。また、子どもの権利条約フォーラムや他団体のイベント参加を通して、不登校などの経験や思い、フリースクール活動を発信する機会がありました。その他、日常の活動の動画ブログも発信する機会となりました。

④ 説明会参加者、見学者へのフォローアップ体制の継続と改善

セールスフォース導入によるフォローアップを継続し他スペースとの連携も進みました。説明会・体験見学は初中等部を中心に多いにもかかわらず入会が増えない状況に対して、11 月から説明会参加者を対象とした「説明会後懇談会」を設けたり、オープンデーを実施することで、親の会につながったり、子どもがより安心して見学に至るケースが増え、入会につながりました。

⑤ 夏休み明け 子どもの“いのち”を守る取組 動画メッセージの追加発信

夏休み明けの学校に苦しむ子ども達に向け、全国子ども交流で東京シューレのメンバーがメッセージを発信し、YouTubeにて配信しました。

⑥ スキー合宿

2月12～14日、群馬県尾瀬岩倉スキー場。3スペースのほか、OBOG、シューレ中学校からの参加もありました。

⑦ 旅立ち祭

スペース全体で31名が年間を通して旅立ちました。北区北とびあドームホールで2回目の実施となり、3月21日に開催しました。テーマ「輝け僕らの一番星」を掲げ、ステージ、シンポジウム、旅立ち式を行い、最後に参加者一斉にペンライトを掲げ盛り上げました。また、パーティ準備は王子シューレ、会場は北とびあスカイホールで、手作りの温かい旅立ち祭となりました。

⑧ 環境整備・施設設備

加湿器空気清浄機、サーキュレーターの購入、印刷機の更新

⑨ 課題と今後

● 入会と女子の入会について

昨年度に続き、説明会、体験見学は少なくないにもかかわらず、入会者が予測よりも少なく、活動面においても経営面においても影響しました。説明会後懇談会の実施のように、シューレへのニーズを的確につかみながら柔軟にフォローアップ体制を継続していくこと、女子にとって入りにくい環境やきっかけをつくっていく必要があります。

● 主に自宅で過ごしている会員への関わり

準会員や主に自宅で過ごしている会員との関わりは、一部改善できたものの十分ではありません。それぞれメンバーや家庭がどのようなニーズを持っているのかをチュートリアルなどを通して把握する機会を持つ必要があります。

● 進路づくりの取り組みについて

従来からの取り組みである進路ミーティング、仕事体験、職業体験フェアの紹介などは継続して行ってきましたが、基本的には会員個々との相談や対応が中心になっており、スペースとしての取り組みが十分ではありません。次年度は、従来からの取り組みを踏まえ、仕事体験の見直しなど、より期待に添う取り組みを行っていきます。

(2) 新宿シューレ

入会者は13人あり、体験見学者が増え、年度当初の予測より入会者数が増えた一年となりました。常勤スタッフを1名増員したことでスポーツや講座、会員個々への対応がより充実しました。初・中等部に新しいメンバーが増え、通信作りや講座などの活動や学習が盛り上がり、高等部では、初・中等部にどのような環境や関係であるとよいかをミーティングで話し合う時間が持たれるなど、異年齢によるタテの良さが発揮されました。スペースで過ごす人数が増え活気があった一方、スペースの窮屈さから、夏休み前後の一時期に入会制限を行いました。途中の退会者は少なく会員全体は微増となりましたが、年度末の退会者は他スペースに比べ長期に会員だったメンバーが多かったことが特徴でした。

① 初・中等部への対応

入会が増え、初等部だけの活動場面も増えました。個別の対応も増えてきたこともあり、常勤スタッフを3名に増やしたことで、関わりが深く持て安心して居られる居場所づくりができました。

2017	こんなことがありました
4月	ロッカー制作、高校コース入学式
5月	通信作り
6月	22周年祭、お泊り会、しごと体験
7月	JDEC、会員企画手芸でオープンディ
8月	APDEC、全国子ども交流合宿 in 東京、通信作り
9月	穴八幡祭り、野外音楽祭
10月	ハロウィンパーティ、通信作り
11月	フリースクールフェスティバル
12月	クリスマス会、通信作り
1月	北海道スクーリング、フリフェス音楽祭
2月	通信作り、節分、餅つき、スキー合宿
3月	卓球大会、高校コース卒業式、旅立ち祭、新宿祭

② 学びの充実

初等部は個別学習を中心にし、中等部は基礎講座、高等部は高認講座、レポート講座など行いました。

個々のやりたいこと（工作・手芸・イラストを描くなど）を日常の中でやりやすくし、みんなでやりたいこともミーティングで話し合いながら行っていきました。スポーツが盛り上がった一年でした。卓球、フットサル、バスケット、バドミントンを定期的に行い、フットサルは講座以外でも、子どもどうしが声をかけあって自主的に行うほどでした。

女の子向けの企画を、月 1 回子ども中心で企画し、夏にはオープンディを設け、4 組の親子が参加する成果となりました。映像講座では、シューレ大学の学生が講師になり、新宿シューレの紹介のビデオを作成し、新宿区教員研修でも見ていただくことができました。

③ イベント

新宿シューレ 2 1 周年祭、穴八幡祭りや野外音楽祭などの地域交流、誕生日スポーツ大会、卓球大会、季節の行事などミーティングや実行委員会で話し合いながら実現していきました。

音他団体と行った APDEC、全国子ども交流、フリフェスなど実行委員会から関わり、海外や全国の方と交流でき、一緒に活動したことで大きな自信につながりました。

音楽祭は、今年は「新宿祭」というタイトルで、バンド、ダンス、お笑い、ゲーム実況といろんなものが発表できるよう相談しながら、みんなで楽しめるイベントになった。

④ 広報

Web (Facebook、Twitter、ブログ、ホームページ) で定期的に発信し、ホームページの見直しを行いました。

⑤ 環境整備

ロッカーの増設、本棚の増設、トイレの改装を子どもたちで企画を立てて整備し、木工体験の機会にもなりました。

⑥ 課題と今後

男子会員が圧倒的に多くなり、女の子が入りにくく活動しにくい環境の改善が火急の課題です。手芸企画のオープンディなど行い女の子が増えましたが、より過ごしやすい環境を見直し、整えていく必要があります。また、長く在籍した会員が巣立っていき、日常の活動やイベントによりスタッフの関わりが重要となっています。

(3) 流山シューレ

流山シューレとしては 3 年目となり活動面も経営面も安定してきました。引き続き広報に力を入れ HP・ブログ等の充実を図りました。5 月より第 1 水曜日に「親の会」を開設。9 月の「フリースクール無料開放キャンペーン」には、5 組の家族が参加。会員増にもつながり、1 月からサポートスタッフを増員しスタッフ 3 人体制としました。高校コースは、今年度入学の 2 名とホームシューレからの 1 名の計 3 名。千葉県フリースクール等ネットワークの設立に参画し、千葉県議会フリースクール等教育機会確保議員連盟の結成の働きかけも行いました。

① 会員を増やす取り組み、広報活動

広報費用をかけてホームページ、ブログ等を充実させ、サイトアクセス、問い合わせ等の分析を継続し、記載内容に反映しました。9 月の「フリ

2017	こんなことがありました
4 月	おでかけ企画「清水公園」高校コース入学式
5 月	おでかけ企画「スポーツ交流会」「清水公園」「親の会」開始。
	おでかけ企画「清水公園」「柏の葉公園」「お泊り会」
7 月	おでかけ企画「清水公園プール」
8 月	夏合宿・おでかけ企画「清水公園プール」
9 月	おでかけ企画「清水公園プール」「スポーツ交流会」「お泊り会」
10 月	「フリースクール無料開放キャンペーン」
11 月	「お泊り会」おでかけ企画「清水公園」「柏の葉公園」保護者個人面談
12 月	フリースクールフェスティバル、「お泊り会」保護者個人面談
1 月	おでかけ企画「清水公園」、サポートスタッフ増員
2 月	クリスマス会 おでかけ企画「柏の葉公園」「ようこそ先輩」
3 月	おでかけ企画「アンデルセン公園」「清水公園」音楽祭参加

ースクール無料開放キャンペーン」は 5 組の家族の参加があり、会員数が安定してきました。

② 何かやる日

お出かけ企画では、近隣の清水公園を満喫。年 3 回の「お泊り会」企画も盛り上がり、スペースとしての活動の特長ができてきました。

新設の「ボーカロイド講座」は、女の子を中心に盛り上がり、作品をユーチューブにアップするなど達成感がありました。

③ フリースクールフェスティバル

自営でパンを販売している保護者の協力が、「天然酵母のパンや」で参加しました。本番までに 3 回ほどパン試作し良い学びになりました。当日は完売となり満足感が高まりました。

④ 保護者会・親の会

流山親の会を 5 月に立ち上げ、奥地の講演会を開催し、保護者や地域の方々、議員など 30 名を超える参加もあり、その後の定例は毎月第 1 水曜日夕方に開催しました。スペースの保護者会の参加は増えてきましたが、運営への保護者参画や合同保護者会等への参加は課題です。

⑤ 課題と今後

スペースの活動や環境の充実は進んでいます。子ども、保護者会ともに、スペースどうしの交流や合同イベントなどへの参加が増えるような工夫が必要です。

(4) シューレ大学

2017 年度のシューレ大学では、8 月に開催された APDEC に向けての取り組みが大きな出来ことになりました。その後も国際交流が続きました。また、仕事に繋がるパイロットプロジェクトともう少し簡単に参加できる仕事経験の企画がスタートしました。広がりとしては東京オリンピック、パラリンピックのリーディングプログラムである TURN の一環で表現と農業のコラボレーション企画にも後期から参加を始めました。

① APDEC 東京大会の開催準備

APDEC の実行委員会のメンバーの多くはシューレ大学の学生・OBOG であり、実行委員会に出ていなくても開催準備の作業を分担してくれていました。シューレ大学をあげて準備をしました。学生たちが準備でも当日でも多くを担ってくれました。特にクラウドファンディングなど寄付集めでは 90 万円以上を集めましたが、そのための映像、説明のパワーポイント、チラシなどを制作したり、グッズを制作したり、多くの努力を惜しまず準備を進めた。想定人数をはるかに上回る海外 15 カ国、国内外参加者 500 名超で成功裏に終わりました。

② APDEC を機会にデモクラティック教育について深める

APDEC の大会中は実務を担いましたが、4 月に行ったサマーヒルスクールのプレイイベントや大会後の共有などで、デモクラティックエデュケーションとは何か、デモクラティックエデュケーションに於ける自由や学びとは何かについて議論を行いました。特にサマーヒルスクールに於ける自由についてはヘンリー・レッドヘッド氏が 1 日かけてシューレ大学でワークショップをしてくれたこともあり、自由については多くの議論をすることができました。

③ 第 10 回シューレ大学国際映画祭の開催

10 回は行おうということから始めた映画祭も 10 回を迎えました。この年は演劇とのコラボレーション上映という新しい

2017	こんなことがありました
4月	ユートリアルウィーク・APDEC プレ企画
5月	ワンデーワークショップ(映像、研究)
6月	ワンデーワークショップ(デザイン、演劇、美術)
7月	三島由紀夫近代能「班女」でシューレ大学の映像を演劇とコラボ上映
8月	APDEC 開催・TURN フェス 3 参加・国際映画祭開催
9月	夏合宿(秦野)
10月	研究イベント/テュートリアルウィーク
11月	エデュコレにブース出展
12月	演劇公演/石巻被災地支援
1月	DET 研修
2月	絵画展/オルタナティブ教育実践交流集会ブース出展
3月	報告会/気仙沼でのシンポジウム

形での映像制作と上映に取り組んだ。劇団山の手事情社の主演役者の一人大久保美智子さんのユニットとシューレ大学の学生の映像と演劇をひとつながりで上演し、好評を得ました。また、映画祭の最後のコマで上映映画監督と映画祭の実行委員が映像表現に関して直言を交わすというクロストークを初めて行いました。

④ DET 研修

DET（障害平等研修）という障害をもつファシリテーターから受ける研修で、障害を持つ人と持たない人がどのように平等な関係を持っていけるのかというワークショップです。2回に渡り研修を受け、今のシューレ大学で取り組むことの出来ることを改善しました。

⑤ 金銭を稼がなければいけないというプレッシャーへの取組み

10代で参加したメンバーにも金銭を稼がないと申し訳ないという罪悪感が強く、学びに集中しにくいという傾向が強まっています。そのため、自分の関心を見つけその分野で経験を積みながら金銭を得られる経験を積んでいくことを待てない状況にある学生が増えてきていると感じます。そこで、すぐに金銭をシューレ大学という安心できる環境で得られる仕組みを始めました。

⑥ 課題と今後

- 学生増の取組み・海外からの留学生の受け入れ

2017年度はOBOGになるメンバーが多く、2018年度は少ない人数からの出発になります。近年、自分から始ま学び、生き方創りが特に海外から評価されるようになってきました。その取組みを充実させながら、新しい学生を向かえ入れることに注力する必要があります。

- 老朽化した施設の営繕

1階のシューレ大学部分は耐震補強などを施しているとはいえ、昭和30年代に建築された建物で付随している設備も老朽化しているものがあり、壊れた照明器具など必要な施設を交換しました。

■ 4 ホームエデュケーションネットワーク運営事業について

5月6日(土)北とびあにて「家で育つ子どもたち」開催、来場者が82人ありました。同時期、新HP公開と新ブックレット『ホームエデュケーション始めました』を配布開始し、問合せ件数が倍増。会員数は年度当初ファミリー会員95世帯・ペアレント会員86世帯・合計181世帯だったが、年度末にはそれぞれ104世帯・92世帯・合計196世帯に増加しました。10月21日(土)・22日(日)の全国合宿は参加人数が前年度55人に対し78人と22人増。初のホームシューレ会員だけのバンド&ダンスも披露されました。11月23日(祝)のフリースクールフェスティバルは保護者有志中心でホームシューレの企画運営を行いました。

① 会員増

ホームエデュケーションイベント・新HP・新ブックレットの三大広報を年度初期の5月上旬に行い、会員増を図りました。目標の1割には届かなかったが、結果的に15世帯、8.3%増となりました。小中学生会員を増やす目標については、年度当初59人(うちファミリー会員23人)だった小中学生が年度末に70人(うちファミリー会員31人)になった。

② 保護者交流の活発化

新ブックレット編集委員会、関西サロンの定例開催、全国合宿の親子合同プログラムの企画運営、フリースクールフェスティバルへの参加など、保護者の参加が多くなり、活発化しました。

③ イベントの開催

5月6日(土)に12年ぶりのイベントを開催。朝日新聞の後援を受けられ、会員外参加が多数ありました。

④ 英語コースBの開始

2016年度に実験的に開始した英語コースが順調。各自の英語力がアップし、海外留学した会員もいました。新たに英語コースBグループをスタートさせ、こちらでも英語や対人関係に自信がつく機会となっています。

⑤ 課題と今後

- **会費の値上げ** … 2018年4月からペアレント会員会費を1200円値上げし、名称を「メッセージ会員」に変更することを検討しました。
- **正会員の活動メニューを増やす** … いっそう会員のニーズに応え、ペアレント会員からの移行を促すため、ファミリー会員の名称を「正会員」とし、活動メニューを増強します。

2017	こんなことがありました
4月	新ブックレット作成 高校コース入学式
5月	イベント「家で育つ子どもたち」 高校コース前期東京SC
6月	関西サロン(大津)
7月	ランチ会・合同保護者会、高校コース本校SC
8月	APDEC(なぎなたワークショップを担当) 卓球オフ会 夏の全国合宿
9月	合宿下見
10月	第19回全国合宿(野田)
11月	高校コース後期東京SC フリースクールフェスティバル
12月	四国サロン(松山) ランチ会・合同保護者会
1月	卓球オフ会
2月	掛川サロン
3月	高校コース卒業式

■ 5 高校コース事業

札幌自由が丘学園三和高等学校との提携による高校コースは6年目を迎え、2017年度入学者は24名で、在籍者数は68名、年度末に16名が卒業しました。本校スクーリングは、両コース共に北海道ならではの体験や講師の方々によるオリジナリティが高い教科スクーリングを実施しました。日常のレポートサポートについても、フリースクールコースでは講師や学習ボランティアの協力により個別対応も取り入れながら、進める事ができました。また、年度初めのガイダンスでは、改めてフリースクールでの活動の意味や大切さを伝える機会をもったことで、特に新入生による様々な新しい活動が生まれ、フリースクール活動が活発化した1年となりました。

① レポートサポートへの対応

フリースクールコースでは、サポートスタッフやボランティアの協力を得て、個別対応も入れながらサポートすることができました。また今年度よりレポートの締め切りを年 2 回に分けたことで、年 1 回よりもスムーズに取り組みました。

② 交流を深める（本校スクーリング）

カヌーをはじめとし北海道の大自然を満喫するとともに、共同生活を通してスペースを横断した交流が盛んになりました。また、日常は自宅中心で学習活動を進めていたメンバーたちが本校スクーリングを通して知り合い、楽しく過ごす様子が多

く見られました。ホームシューレコースにおいても、交流が深まるように最終日に「札幌グループ自由行動」に向けて計画を毎晩共同で立てるなどしました。

③ フリースクールやホームシューレを基盤とした学びをつくる

両コース共に、日常のフリースクールやホームシューレの活動をベースに体験活動、人間関係、スタッフとのかかわりなど広い意味での学びができました。一方、単位取得に必要な時間のみに参加する会員もあり、個々の状況を大切にしながらも、フリースクールやホームシューレが基盤であることを確認していくことが必要です。

2017	こんなことがありました
4月	入学式
5月	フリースクールコーススクーリング ホームシューレコース東京スクーリング（前期）
6月	フリースクールコーススクーリング
7月	本校スクーリング（ホームシューレコース）
8月	
9月	フリースクールコーススクーリング
10月	フリースクールコーススクーリング
11月	フリースクールコーススクーリング ホームシューレ東京スクーリング（後期）
12月	フリースクールコーススクーリング
1月	本校スクーリング（フリースクールコース）
2月	学年末試験
3月	卒業式

④ 進路支援

個別での進路相談、民間の進路・進学フェアの活用などを実施しました。年間を通じた進路支援の計画や保護者と連携した取り組みなど東京シューレ学習センターとしての進路支援のしくみが不十分であり今後の課題です。

⑤ 本校との連絡・運営について

東京にて協議 3 回、訪札しての協議 1 回、夏の本校スクーリング時に和寒町長・教育長訪問をとおして連携を深め、教務・事務・今後の高校の在り方などについて協議し、しくみの整備を進めました。

■ 6 東京シューレ大田ビル建設および大田シューレ開設準備事業について

建物の老朽化、袋地という恵まれない立地により、塩漬け状態であった土地・建物でしたが、2016 年度、土地建物活用検討委員会における検討、その後の臨時総会を経て、東京都・大田区・保育事業者との連携による認可保育所併設の建替え建設事業および新フリースクール東京シューレ大田開設準備事業を進めてきました。

（1）経過

2017 年

1月16日	建築設計・管理業務委託契約締結
7月21日	第1期工事（躯体）請負契約締結、建設資金融資
7月24日	着工
9月25日	1・2階部分の保育事業者への賃貸契約締結
11月20日	1・2階部分の保育事業者への賃貸開始
12月6日	第2期工事（内装）請負契約締結

2018 年

3月15日	完成引渡し
3月18日～	引越作業、備品等搬入
3月27日	お披露目の会（竣工式）
3月28日	現地にてフリースクール東京シューレ大田説明会

(2) 建物概要

概要	鉄筋コンクリート造 3 階建て	
階	用途	面積
R 階・塔屋	シューレ	24.90㎡
3 階	シューレ	250.94㎡
2 階	保育所	256.11㎡
1 階	シューレ・保育所	261.58㎡
合計		793.55㎡ (240.05坪)

(3) 建築費用および資金調達計画の概要

- 建設費用 2 億 3800 万円
- 自己資金 1000 万円 借入金額 2 億 2800 万円
- 返済計画 2017 年 12 月より 20 年返済 毎月 109 万円 (利息込み)
- 返済原資 認可保育所施設貸付による賃料収入

(4) フリースクール東京シューレ大田 開設準備

開設募金を実施し、総額 248 万円のご寄付をいただき、これを原資に開設準備を実施しました。ご協力ありがとうございました。

内容	金額	備考
開設寄付	2,480,000	
自己資金	614,945	
合計	3,094,945	
支出	601,080	電話設備
	200,000	WEBページ制作
	246,240	パソコン等
	441,396	PCネットワーク設備
	937,775	什器、家具、電化製品等
	668,454	その他
合計	3,094,945	

■ 7 その他の活動について

(1) 保護者会/親の学び合い・相談/若者支援等の活動

- ① **フリースクール保護者会・個別面談** …保護者会は第 2 土曜日 11 回開催。スタッフと保護者の個別面談は 10 月、11 月に実施、保護者会も並行して実施しました。
- ② **説明見学会** …フリースクール入会希望の保護者対象に王子シューレで毎月 1 回計 12 回、大田シューレで 2 回開催。申込者 260 名、参加者 187 名
- ③ **相談電話・来訪相談** … 平日月～金 10:00～18:00 に相談電話を常設実施、来訪による相談も受付
- ④ **親ゼミ・親の会** …毎月第 2 木曜日に親ゼミを年間 11 回開講。「登校拒否を考える会」(王子)、流山親の会、大田親の会をつくり、葛飾親の会を含めて、連携的な開催ができました。
- ⑤ **土曜サロン** …毎月第 1 土曜日 14:00～17:00 にひきこもり当事者の交流サロンを年 9 回実施

(2) 一般対象の研修・講習会・親の会、視察、派遣等

- ① **一般見学会や視察の受け入れ** …説明見学会のほか、岩手県議会議員、広島市議会議員、板橋区教育委員会 SSW、文京区教育センターSSW、大田区教育委員会、狛江市教育委員会・適応指導教室・SC、文科省丹羽秀樹副大臣、文科省初等中等教育局児童生徒課長、内閣府人事局幹部候補生研修、大学・大学院のゼミ・インターン等(東京学芸大、早稲田大、明治学院大、東京経済大など)、全国適応指導教室連絡協議会、韓国龍仁市青少年自立支援センター、韓国大邱大学など
- ② **出張実施・企画実施・派遣等** … サマーヒルスクールの自由な学び・育ちを知る、明治学院大学、北区十条地区委員研修、フリネットフリースクールスタッフ養成研修講座、中央区十思カフェ、新宿区教育委員会不登校担当教員研修、エデュコレ、東京しごとセンターNPO 研修、金沢市フリースクールリュフト、熱海不登校を考える会、不登校を考える会大田、大田区こども笑顔ミーティング、日本教育支援協働学会、多様な学び実践研究交流、クロンララスクール 50 周年、韓国代案学校連帯、など

(3) 東京シューレ主催等の催し

- ① **東京シューレ「子どもを知る」シューレ公開講座** … 1) 9月1日「子どもが語るいじめ」 2) 12月1日「不登校政策について」文科省不登校担当高橋由紀さん 3) 1月26日「なぜ東京シューレに取り組んできたか」奥地圭子 4) 3月2日「いじめと対応・対策の今」ストップいじめ!ナビ・シューレOB須永祐慈さん
- ② **不登校・フリースクール公開研究ゼミ** … シューレ大学活動報告参照

(4) 夏休み明け 子どもの“いのち”を守る取組

8 月、「学校に行くことは義務じゃない」動画メッセージに込める思い」を Youtube で公開したほか、子ども相談電話「シューレ」、またフリースクール全国ネットワーク加盟のフリースクール・居場所と連携して「開放居場所」を開設を 9 月以降継続実施しました。

(5) 東京シューレ子ども相談電話「シューレ」

東京シューレの実践を生かした子ども相談電話「シューレ」を毎週木曜日に実施し、保護者OB・OGや葛飾中学校のスタッフなどがボランティアであたりました。

(6) 学校法人東京シューレ学園との連携による活動

スタッフ連携会議を定期的に開催し、子どもスポーツ交流・ママ食、行事・イベントの相互協力、シューレ中での「ようこそ先輩」、合同保護者会、スタッフ合同研修、行事広報協力、コミュニケーションロボット「オリヒメ」共同研究など、日常的に連携して活動しました。

(7) 立法、国のフリースクール支援、学校づくり・フリースクール公教育化の活動

- ① **超党派フリースクール等議員連盟による「教育機会確保法」の制定実現**

教育機会確保法施行 1 年目となり、12 月に超党派フリースクール等議員連盟と夜間中学等義務教育拡充議員連盟の合同議連が開催され、奥地がフリースクール全国ネットワーク代表理事として、各地の公民連携の進捗状況を報告し、要望書を提出しました。

② **文科省「フリースクール等に関する検討会議」**

奥地が委員として継続参加し、3 月に不登校に関する調査研究協力者会議との合同会議が開催されました。

③ **学校づくり活動**

東京シューレ学園と連携して学校づくり委員会の設置は継続し、小学校の設置、高等学校の設置、廃校等の情報収集等について、検討しました。

(8) 行政・学校等との連携・協働

- ① **在籍校担任見学の開催** … 8 月 9 日、王子、新宿のスペースの会員の在籍小中学校担任等を対象に開催し、参加校も増え好評で有意義な情報意見交換ができました。参加校をもっと増やす工夫が必要です。
- ② **文科科学省** … 文科省児童生徒課とは、視察受け入れ、情報交換、公開講座での講師招へい、東京学芸大学を通じた調査研究などを行い、連携が進みました。
- ③ **東京都教育委員会** … 2016 年度に「不登校・高校中退対策検討委員会報告」策定、「教育支援センター（適応指導教室）等におけるサポート講座」事業委託などで連携が進みましたが、2017 年度は足踏みしました。積極的にいかわっていくことが重要です。
- ④ **北区** … 政策提案協働事業の申請を通して、教育委員会に事業提案を行い 2018 年度から 3 年間の事業が採択されました。本事業の準備を通して、交流が進みました。

(9) 出版・メディア登場

- ① 『**教育機会確保法の誕生**』の出版 … フリースクール全国ネットワーク・多様な学び保障法を実現する会として、東京シューレ関係者も編集委員になり、奥地、会員 O G、保護者、スタッフも執筆を行い、8 月に出版されました。
- ② **メディア登場一覧**
 - 20170818 NHK 総合 ニュースシブ 5 時
 - 20170825 日本経済新聞夕刊 フリースクール+行政 不登校児支援で連携
 - 20170826 NHK E テレ 噂の保護者会 スペシャル「不登校～保護者にできることは？」
 - 20170831 NHK 総合 あさイチ「学校だけじゃない 不登校の子どもたちの選択」東京シューレ動画、葛飾中学校
 - 20170831 NHK E テレ ハートネット TV
 - 20170905 NHK ニュースウオッチ 9
 - 20170905 NHK 総合 おはよう日本
 - 20170905 TBS テレビ Nスタ 王子シューレ
 - 20170912 週刊新社会 フリースクール活動の拡がり(上)長期休み明けの自殺防止考える
 - 20170919 週刊新社会 フリースクール活動の拡がり(下)民主的な教育のあり方問う
 - 20180127 NHK E テレ シリーズ不登校～学校に行かない学び方
 - 20180305 AERA with Kids 2018 年春号 「フリースクールという居場所」

(10) 他団体との連携・協働

- ① **関係団体とのネットワーク** … 登校拒否を考える会、フリースクール全国ネットワーク、多様な学び保障法を実現する会、登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク、全国不登校新聞社など
- ② **TOKYO APDEC 開催・国際交流** … APDEC（アジア太平洋フリースクール大会）の開催実行委員会は、シューレ大学学生を中心に新宿シューレ高等部やシューレスタッフが積極的に関わりました。海外から 250 名を超える参加を得て、期間中のワークショップのほかフリースクール訪問などで国際交流が深まりました。保護者の方のボランティア参加も

たくさんいただきました。

- ③ **地域・NPO 団体・企業・財団等との連携** …企業・財団による社会貢献や寄付助成プログラムと連携し、資金、人材、教育資材、学習体験機会などの提供をいただきました。また、活動を賛助会員として支えていただいたり、社員ボランティアとの交流なども行いました。

- ご協力いただいたり、協働した企業・財団等（敬称略・順不同）** … 石橋財団、GAP Inc.、朝日ライフアセットマネジメント、日本産業パートナーズ、セールスフォース・ドットコム、幸栄不動産、J K、稲栄社印刷、ほのぼの運動協議会・メディアサーカス、アレックス、東京シューレ出版、ツナガルラボ、創造集団 440Hz、バーニングギャラクシー、ありん堂、労働者クラブ保育園、ニチイケアセンター、クニイケアセンター、オリイ研究所、北区社会福祉協議会、日本NPOセンター・テックスープ、ハマダ基金・市民社会創造ファンド、パブリックリソース財団・GiveOne、北区市民活動推進機構
- 賛助会員として支援いただいた企業（敬称略）**… 大多喜ガス、東鉄工業、東京鐵骨橋梁

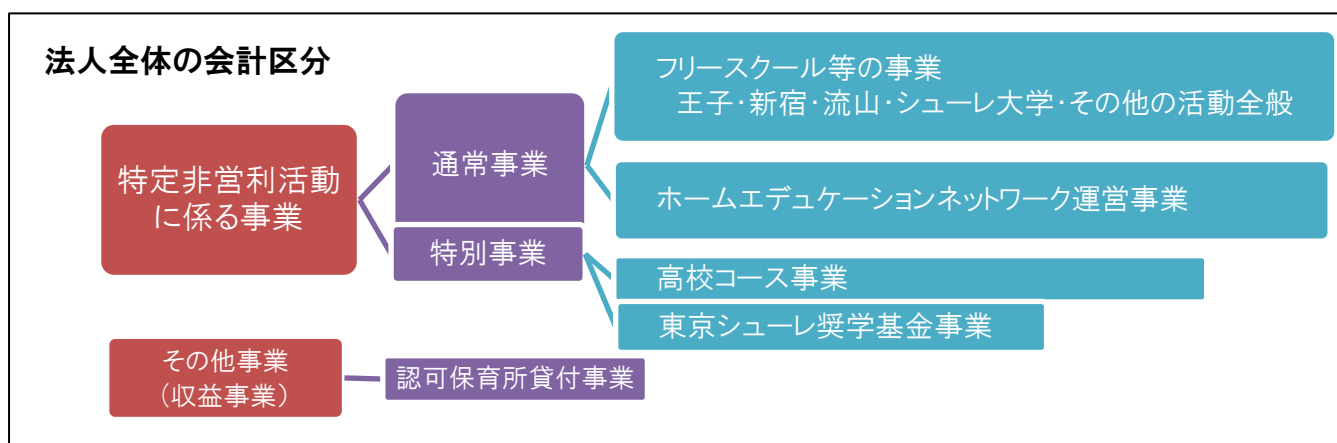
■ 8 団体の運営に関する報告

(1) 組織

- ① **NPO 年間会員数（ ）は昨年度年間…** 会員 314 (314) 名、支援会員 86 (87) 名、賛助会員 4 (4) 法人
- ② **総会運営…** 通常総会 2017 年 6 月 10 日（土）開催
- ③ **理事会運営…** 定例理事会 11 回
- ④ **委員会運営…** 財政委員会、学校づくり委員会、給与待遇改善委員会、大田土地建物活用検討委員会、PC ネットワーク等検討委員会を置きました。2018 年度に向けてファンドレイジング委員会を作ることも決まりました。
- ⑤ **スタッフ体制…** 常勤スタッフに加え、非常勤で年間を通じて週 3.5 日以上勤務するサポートスタッフ制度をつくり、スタッフ体制を充実させると同時に、スタッフ養成の機能を持たせ、2018 年度に常勤として 2 名採用することを決めました（サポートスタッフ制度は石橋財団助成により実施）。その他、アルバイトやボランティアの力も得ました。

(2) 運営・経営

2017 年度から、従来の「特定非営利活動に係る事業」（いわゆる NPO 活動）に「**その他事業**」（NPO 活動を支えるための収益事業：認可保育所貸付事業）を開始しました。また、シューレの基幹的な事業である「**フリースクール等の事業**」（王子・新宿・流山・シューレ大学）と「**ホームエデュケーションネットワーク運営事業**」（ホームシューレ）を通常会計と称し、付随する NPO 活動を特別事業（東京シューレ奨学基金・高校コース）と称しています。



- ① **通常事業の状況** … フリースクール部門は、説明会参加は昨年同様に多く、新宿会員が増えましたが、王子、大学の入会・入学が伸び悩み、予算対比△1065 万円でした。経常収益全体では予算対比で△896 万円となっていますが、大田開設のための特別な寄付金収益 248 万円が入っていることを考慮すると、通常事業部門は苦しい運営となりました。一方費用は、計画変更や按分修正による増減、大田開設寄付を原資とした開設準備費用(消耗品・事務用品費)が入っていますが、トータルにはほぼ予算に近い執行になっています。経常費用の 75%を会員の皆さんで出し合って支え、不足分を寄付や助成金、特別事業等でまかなう損益構造がより強くなっています。自主事業に足場を置きつつ、社会によって活動が支えられています。
- ② **特別事業の状況** … 東京シューレ奨学基金と高校コースです。
- 高校コース** … 事業収益、提携事業収益、経常費用のうち奨学基金充当金をのぞく額がすべて高校コースの損益です。通常事業からスタッフ人件費を按分していますが、その額が大きいために高校コースとして赤字となっています。なお、入学金、授業料、スクーリング費用等は、本校が収納するため、シューレの損益には出てきておりません。
 - 東京シューレ奨学基金** … ハマダ基金からの支援を受け持続可能な基金をめざし、個人寄付募集に取り組み 46 件 322 万円の寄付が集まりました。これにより、346 万円の次年度繰越し(特別会計繰入額)ができています。活用の方は、基金を原資として、12 家庭に対し 2,133,900 円の減免支援を実施できました。
- ③ **寄付・助成金の受け入れ** … 入会・入学時寄付 7 口 70 万円(2018 年度予算の奨学基金と王子 Wi-Fi 等ネット環境整備に活用)、演劇鑑賞寄付、大田シューレ開設寄付、東京シューレ奨学基金の寄付募集を行いました。その他、会員、保護者、スタッフ、個人一般、企業・財団等から、総額 1825 万円のご寄付をいただき、経営と事業を支えていただきました。王子ではパブリックリソース財団 AED 寄贈プログラムにより AED、流山シューレでは保護者からオープンレンジ、エアコンの現物寄付もいただきました。
- ④ **基本金の組み入れ** … 定款および入会金・会費規程に基づき、使途特定のない一般寄付金と NPO 入会金・年会費 478 万円を基本金に組み入れました。大田土地取得と建物建設に係る借入金返済額については、今期から組み入れないこととしました。
- ⑤ **会費等の見直し** … 人件費や必要な支出は年々増加してきており、経営が厳しくなっている傾向があり、ホームシューレの会員名称と会費変更を行い 2018 年度から適用することとなりました。フリースクール等の会費については 2018 年度間で検討を行うこととしました。
- ⑥ **スタッフ等の待遇改善** … OG 保護者の社労士に参画していただき、2018 年度から中退共への加入、退職金規程を定めました。
- ⑦ **施設・設備・備品**
- 本部・王子シューレ** … パソコンの計画的な入替、コミュニケーションロボット「オリヒメ」新宿への導入など
 - 新宿シューレ・シューレ大学** … 1 階エアコン入替、大学学生用 PC の計画的な入替
- ⑧ **その他収益事業(認可保育所貸付事業)** … 11 月 20 日より保育事業者への賃貸を開始し、787 万円の賃貸料収益、525 万円の礼金を得ています。費用には、建設や事業に多く関わったスタッフ人件費を按分した額、11 月以降の減価償却費、旧建物の取り壊し費用、建設費にかかっている消費税(一括して損金に)をなどです。今期は収益は出ておらず法人税課税がありませんが、2 年目以降は損益から約 40%の法人税を納めることとなります。

■ 9 決算に関する報告

(単位:円)

科 目	特定非営利活動に係る事業			その他 収益事業	合 計
	通常事業		特別事業		
	フリースクール 等の事業	ホームエデュケーション ネットワーク運営事業		奨学金事業 高校コース事業	
I 経常収益					
1. 受取会費	NPO入会金会費	4,540,000			4,540,000
2. 寄付金	一般寄付金	398,270			398,270
	特定寄付金	8,966,697	157,022	3,728,000	12,851,719
3. 助成金	助成金	5,000,000			5,000,000
4. 事業収益	入会金・会費等	79,328,556	11,848,275		91,176,831
	施設整備費	5,406,000			5,406,000
	講習会・補助活動事業等	3,676,659	2,356,246	233,334	6,266,239
5. 提携事業収益				10,182,500	10,182,500
6. 賃貸料収益				7,289,478	7,289,478
7. その他収益		1,956,440	9,330	4,861,111	6,826,881
8. 課税売上消費税		6,170,503	1,137,107	972,047	8,298,323
9. 基本金組入額		△ 4,778,270			△ 4,778,270
経常収益計		110,664,855	15,507,980	14,162,500	13,122,636
II 経常費用					
1. 事業費					
(1) 人件費	給与手当(通勤手当含む)	53,478,470	7,291,420	10,249,716	1,794,330
	退職金給付金				
	法定福利費	7,713,183	1,063,794	1,335,932	224,902
	福利厚生費	66,889	8,000		1,407
人件費計		61,258,542	8,363,214	11,585,648	2,020,639
(2) その他経費	講師料・支払報酬等	1,790,273	162,000	484,000	398,854
	印刷製本費	523,608	3,801,384	75,863	2,835,127
	荷造運賃発送費	520,186	267,437	50,600	4,400,855
	旅費交通費	2,267,123	251,544	380,970	838,223
	通信費	666,054	18,744	73,550	133,352
	消耗品費・事務用品費	4,314,005	419,673	158,117	1,800
	その他活動費等	4,322,617	1,651,173	98,094	4,891,795
	水道光熱費	2,421,373			6,326,982
	地代家賃	19,446,240	648,000		2,421,373
	賃借料	385,271		212,956	20,094,240
	奨学金基金充当金			2,133,900	598,227
	租税公課	5,050,234			2,133,900
	減価償却費・保証金償却費	4,407,086			1,415,213
	支払手数料	371,696	31,258	12,960	6,465,447
	雑費	674,090	31,000	46,666	5,712,210
その他経費計		47,159,856	7,282,213	3,727,676	4,047,465
事業費計		108,418,398	15,645,427	15,313,324	6,068,104
2. 管理費					
(1) 人件費	役員報酬	960,000			960,000
	給与手当(通勤手当含む)	887,508			887,508
	法定福利費	170,172			170,172
	福利厚生費	4,806			4,806
人件費計		2,022,486	0	0	2,022,486
(2) その他経費	支払報酬	690,000			690,000
	印刷製本費	16,587			16,587
	荷造運賃発送費	30,638			30,638
	旅費交通費	38,292			38,292
	通信費	200,423			200,423
	消耗品費・事務用品費	1,324,240			1,324,240
	その他経費等	803,773			803,773
	水道光熱費	76,185			76,185
	地代家賃	1,134,240			1,134,240
	保険料	168,112			168,112
	租税公課	561,137			561,137
	減価償却費・保証金償却費	1,554,046			1,554,046
	支払手数料	256,710			256,710
	雑費	72,057			72,057
その他経費計		6,926,440	0	0	6,926,440
管理費計		8,948,926	0	0	8,948,926
経常費用計		117,367,324	15,645,427	15,313,324	6,068,104
当期経常損益差額		△ 6,702,469	△ 137,447	△ 1,150,824	7,054,532
III 経常外収益					
1. 奨学金基金繰入収益		2,133,900			2,133,900
2. 特別会計繰入収益					
3. 通常会計繰入収益				2,369,834	2,369,834
経常外収益計		2,133,900	0	2,369,834	0
IV 経常外費用					
1. 通常会計繰入額		500,000			500,000
2. 特別会計繰入額				3,463,934	3,463,934
3. 支払利息		785,964			2,563,220
4. 退職金給付引当金		1,388,371			1,425,396
5. 固定資産除却損		6			6
6. 雑損失(予備費)		18,821	1,950		20,771
経常外費用計		2,693,162	1,950	3,463,934	1,814,281
V 特別損失					
1. 取壊し費用				2,654,000	2,654,000
2. 違約金				152,000	152,000
3. 大田ビル関係消費税		2,448,697		5,399,692	7,848,389
特別損失計		2,448,697	0	8,205,692	10,654,389
当期損益差額		△ 9,710,428	△ 139,397	△ 2,244,924	△ 2,965,441
前期繰越損益額					0
法人税等				70,000	70,000
次期繰越損益額				△ 3,035,441	△ 126,082,734

(2) 貸借対照表 (2018年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	74,544,295	
立替金	3,737	
未収入金	230,000	
未収消費税	8,784,086	
貯蔵品	171,696	
前払費用	3,077,861	
仮払消費税	172,797	
流動資産合計		86,984,472
2 固定資産		
土地	91,723,840	
建物	169,862,280	
建物附属設備	41,848,652	
構築物	5,815,121	
備品	1,929,965	
電話加入権	648,000	
ソフトウェア	443,275	
保証金	11,864,000	
出資金	50,000	
固定資産合計		324,185,133
資産合計		411,169,605
II 負債の部		
1 流動負債		
前受金	9,637,035	
未払金	2,900,751	
賞与引当金	3,537,453	
預り金	4,879,558	
寄付金預り金	3,463,934	
流動負債合計		24,418,731
2 固定負債		
長期借入金	257,769,231	
預かり敷金	4,863,000	
退職給付引当金	20,917,484	
固定負債合計		283,549,715
負債合計		307,968,446
III 正味財産の部		
基本金		229,283,893
前期繰越損益額		△ 110,952,544
当期損益増減額		△ 15,130,190
次期繰越損益額		△ 126,082,734
正味財産合計		103,201,159
負債及び正味財産合計		411,169,605

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日一部改正 NPO会計基準協議会)によっています。ただし、用途等に制約のある寄付金収入に係る会計処理は、預り金経理方式を採用しています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法… 法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。
- (2) 引当金の計上基準… 退職給付引当金は、スタッフの退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき当期末に発生していると認められる金額を計上しています。
- (3) 用途等に制約のある資金の提供を受けた場合の会計処理… 資金を使用した額を寄付金収入として活動計算書に計上し、期末に次期繰越資金が生じている場合は、預り寄付金として貸借対照表に表示しています。
- (4) 施設の提供等の物的サービス及びボランティア等による役務の提供を受けた場合の会計処理… 役務提供が常勤の場合に収益及び費用として評価し、活動計算書に計上します。
- (5) 消費税等の会計処理… 消費税は税抜経理によっています。
- (6) 基本金の組入… 当法人定款、入会金および会費等に関する規程、理事会決議に基づき、NPO入会金・会費、用途制約のない一般寄付金は基本金に組み入れ、収益から控除して計上しています。

2. 基本金計算書 (2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日)

単位: 円

事 項	要組入高	組入高	未組入高
I 前期繰越高	287,737,138	224,505,623	63,231,515
II 当期組入額			
1.NPO入会金・会費収入高	4,380,000	4,380,000	
2.寄付金収入高	398,270	398,270	
3.土地購入			60,181,780
計	4,778,270	4,778,270	0
III 当期取崩額	0	0	
IV 当期末残高	292,515,408	229,283,893	63,231,515

【基本金に組み入れの対象】

1. 収益控除分(定款規定に基づくNPO入会金・会費、および用途指定のない一般寄付金)
2. 基本財産取得分(理事会決議により2016年度まで)
3. 基本財産を借入金にて取得した場合、当該借入金の返済額分(理事会決議により2016年度まで)

3. 使途が制約された寄付等の内訳

内訳は以下の通りです。

(単位: 円)

内容	前期末寄付預り金額	当期受入額	当期減少額	当期末寄付預り金額
1. 特定寄付金				
(1)通常事業				
① フリースクール事業全般		905,577	905,577	
② フリースクール(入会時寄付)		200,000	200,000	
③ ホームエデュケーションネットワーク事業全般		157,022	157,022	
④ キャリア教育・「食と職のプログラム」活動	4,014,528	3,898,805	4,014,528	3,898,805
⑤ 高校コース(入学時寄付)		500,000	500,000	
⑥ シューテレ活動		23,000	23,000	
⑦ 学校づくりや教育多様化を目指す活動		784,092	784,092	
⑧ 自主制作映画普及活動		126,500	126,500	
⑨ スタッフ給与手当待遇の改善		360,000	360,000	
⑩ 演劇公演会活動への寄付		118,000	118,000	
⑪ 大田シューレ開設への寄付		2,435,000	2,435,000	
(2)特別事業				
⑫ 東京シューレ奨学基金	2,369,834	3,228,000	2,133,900	3,463,934
特定寄付金計	6,384,362	12,735,996	11,757,619	7,362,739
2. 助成金				
(1)通常事業				
⑬ スタッフ体制の構築・養成事業		5,000,000	5,000,000	
助成金計	0	5,000,000	5,000,000	0

備考

- ① フリースクールの活動全般に対する、ほのほの運動協会からの寄付、個人等からの寄付 (19件) です。
- ② フリースクール入会時の寄付4名 (4口) からの寄付のうちの半額です。(もう半額は東京シューレ奨学基金に繰り入れています。)
- ③ ホームシューレの活動に対する個人等からの寄付です。
- ④ フリースクールとシューレ大学の特定活動に対するGap.Incからの寄付活動です。
- ⑤ 高校コース入学生保護者(10名) からの寄付のうちの半額です。(もう半額は東京シューレ奨学基金への寄付に繰り入れています。)
- ⑥ シューテレ活動への個人からの寄付です。
- ⑦ 朝日ライフアセットマネジメント株式会社SRI社会貢献ファンド「あすのはね」による寄付活動です。
- ⑧ 自主制作映画活動への個人からの寄付です。
- ⑨ スタッフの給与待遇改善を目的とした個人 (3名) からの寄付です。
- ⑩ 観劇・演劇公演活動への会員、保護者、個人等からの寄付です。
- ⑪ 大田シューレ開設時の会員、保護者、個人 (55名) からの寄付です。
- ⑫ 前期の基金繰越、会員、保護者、個人 (46名) と入会入学時寄付の50%を繰り入れています。
- ⑬ 公益財団法人石橋財団による寄付助成活動です。

上記の特定寄付金のほか、用途特定のない一般寄付金として8名、1団体から398,270円の寄付がありました。

4. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
基本財産						
土地	28,572,060			28,572,060	0	28,572,060
	63,151,780			63,151,780	0	63,151,780
建物	15,024,600		4	15,024,596	15,024,596	0
		161,846,562		161,846,562	1,366,316	160,480,246
	24,000,000			24,000,000	19,251,106	4,748,894
建物付属設備	292,800		1	292,799	292,799	0
		40,211,593		40,211,593	730,680	39,480,913
構築物		5,847,770		5,847,770	32,649	5,815,121
備品	699,300			699,300	699,300	0
		1,066,159		1,066,159	△ 71,726	1,137,885
その他の固定資産						
建物	26,030,378			26,030,378	21,397,238	4,633,140
建物付属設備	2,327,625			2,327,625	2,127,805	199,820
	1,954,800			1,954,800	532,170	1,422,630
	1,029,840			1,029,840	835,620	194,220
	974,658			974,658	423,589	551,069
工具器具備品		642,500		642,500	642	641,858
	803,250			803,250	803,249	1
	310,448			310,448	310,447	1
	796,700			796,700	743,586	53,114
	181,749			181,749	34,833	146,916
	189,972			189,972	103,106	86,866
	3,642,557	236,000		3,878,557	3,878,548	9
電話加入権	648,000			648,000	0	648,000
ソフトウェア		451,400		451,400	△ 27,987	479,387
保証金	12,744,000			12,744,000	1,000,000	11,744,000
	120,000			120,000	0	120,000
出資金	50,000			50,000	0	50,000
合計	183,544,517	210,301,984	5	393,846,496	69,488,566	324,357,930

5. 借入金の内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金				
父母出資金	300,000	0	300,000	0
瀧野川信用金庫 土地購入	37,030,000		3,960,000	33,070,000
〃 建築費用		228,000,000	3,300,769	224,699,231
合計	37,330,000	228,000,000	7,560,769	257,769,231

6. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者(2親等者内の親族、支配する法人)との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	財務諸表に計上された金額	うち役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
I 経常収益		
寄付金	10,021,989	389,571
その他収益(雑収入)	2,118,839	1,256,470
収益計	12,140,828	1,646,041
II 経常費用		
1. 事業費		
講師料・支払報酬等	2,748,773	13,000
地代家賃	21,228,480	480,000
印刷製本費	4,417,442	864,000
消耗品費・事務用品費	6,216,035	1,000
広告宣伝費	520,800	206,000
諸会費	112,200	76,000
雑費	823,813	54,000
2. 管理費		
支払報酬・講師料	378,000	378,000
経費計	36,445,543	2,072,000
(貸借対照表)		
I 固定資産		
備品	2,066,650	693,900
ソフトウェア	479,387	479,387
資産計	2,546,037	1,173,287

- 役員との取引には、役員本人、NPO法人フリースクール全国ネットワーク、NPO法人登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク、NPO法人全国不登校新聞社、NPO法人日本子どもNPOセンター、多様な学び保障法を実現する会、株式会社創造集団440Hz、NPO法人ちばネモ不登校・ひきこもりネットワークとの取引があり、近親者との取引はありません。
- 経常収益における「その他収益(雑収入)」には、事務所賃料、コピー機カウンター料金等の負担分が含まれています。
- 固定資産における備品は、ネットワーク設備等、ソフトウェアはホームページ作成料です。

財産目録 2017 年 3 月 31 日現在 特定非営利活動法人東京シューレ
(単位:円)

科目		期末帳簿価額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金		200,709	
普通預金	三菱銀行UFJ銀行王子支店	21,413,313	
	みずほ銀行王子支店	2,181,426	
	瀧野川信用金庫西ヶ原支店	12,350,518	
ゆうちょ銀行	振替口座	2,938,241	
定期預金	瀧野川信用金庫西ヶ原支店	34,355,088	
定期積金	瀧野川信用金庫西ヶ原支店	1,105,000	74,544,295
未収入金			
未収会費	過年度分フリースクール事業会費	152,400	
	過年度分ホームエデュケーション事業会費	77,600	
未収消費税	大田建設事業に係る消費税還付額	8,784,086	
仮払消費税	備品等税抜き消費税	172,797	9,186,883
貯蔵品			
書籍		171,696	171,696
立替金			
考える会	ゆうメール発送代等	3,737	3,737
前払費用			
家賃	王子 コーエイビル4月分家賃	1,080,000	
	新宿 旧若松出張所4月分家賃	473,000	
	流山 グローリアビル4月分家賃	135,000	
	杉並 倉庫4月分賃料	41,472	
通勤手当等	2018年度4月～9月分スタッフ定期代	1,261,070	
その他	2018年度活動のための会場代等	87,319	3,077,861
流動資産合計			86,984,472
2 固定資産			
(1) 基本財産			
土地			
	大田 仲六郷2丁目13番13(246.68㎡)	28,572,060	
	大田 仲六郷2丁目13番16(120.01㎡)	63,151,780	
建物			
	大田 東京シューレ大田ビル	160,480,246	
	長野 ログハウス	4,748,894	
基本財産合計			256,952,980
(2) その他の固定資産			
建物			
	新宿 旧若松出張所 耐震改修工事	522,661	
	新宿 旧若松出張所 防水、外壁工事	3,578,839	
	新宿 旧若松出張所 内装工事	531,640	
建物附属設備			
	王子 コーエイビル 空調設備等	199,820	
	王子 コーエイビル 玄関、ロッカー設置工事	1,422,630	
	新宿 旧若松出張所 玄関、自動ドア	194,220	
	王子 コーエイビル 空調設備	551,069	
	大田 東京シューレ大田ビル 躯体部分設備	18,356,878	
	大田 東京シューレ大田ビル 昇降工事	8,562,263	
	大田 東京シューレ大田ビル 3階部分設備	12,561,772	
構築物			
	大田 東京シューレ大田ビル 外構工事	5,815,121	
備品			
	王子 コーエイビル 耐火金庫その他備品	233,786	
	王子 コーエイビル ネットワーク機器	590,458	
	大田 東京シューレ大田ビル ネットワーク機器	405,022	
	大田 東京シューレ大田ビル 電話機、冷蔵庫	647,578	
	大学 16mm映写機、プロジェクター	53,121	
電話加入権		648,000	
ソフトウェア	東京シューレ代表ホームページ	443,275	
保証金	王子 コーエイビル	11,744,000	
	流山 グローリアビル初石Ⅱ	120,000	
出資金	瀧野川信用金庫西ヶ原支店	50,000	
その他の固定資産合計			67,232,153
固定資産合計			324,185,133
資産合計			411,169,605
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金			
	2018年度分フリースクール事業会費	5,808,592	
	2018年度分ホームエデュケーション事業会費	2,077,763	
	東京シューレ大田ビル 1階、2階家賃	1,750,680	9,637,035
未払金			
	社会保険料事業所負担分	679,296	
	大田 ネットワーク機器、PC、ホームページ等	1,439,948	
	大田 電話機等	651,080	
	その他	130,427	2,900,751
賞与引当金		3,537,453	3,537,453
預り金			
	社会保険料スタッフ負担分	682,086	
	源泉所得税預り金	119,667	
	住民税預り金	179,000	980,753
特定寄付預り金	東京シューレ奨学基金 ハマダ基金他	3,463,934	
	活動プログラム Gap.Inc	3,898,805	7,362,739
流動負債合計			24,418,731
2 固定負債			
長期借入金			
	大田仲六郷土地購入資金 瀧野川信用金庫	33,070,000	
	東京シューレ大田ビル建設資金 瀧野川信用金庫	224,699,231	
預り敷金	東京シューレ大田ビル敷金(株)なないろ	4,863,000	
退職給付引当金		20,917,484	
固定負債合計			283,549,715
負債合計			307,968,446
III 正味財産			103,201,159

監査報告

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人東京シューレ
理事長 奥地圭子 殿

私は、特定非営利活動法人東京シューレ定款第 22 条に基づき、貴法人の第 19 期事業年度（自平成 29 年 4 月 1 日至平成 30 年 3 月 31 日）の決算に関し、提示された帳簿書類に基づき監査したところ、決算報告書、すなわち特定非営利活動及びその他の収益活動に係る活動計算書、基本金計算書、貸借対照表並びに財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、正規の簿記の原則に従って貴法人の財政状態並びに収支の状況を正しく示しているものと認めます。

以上の通り報告いたします。

平成 30 年 5 月 14 日

監 事 安村長生 

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人東京シューレ
理事長 奥 地 圭 子 殿

私は特定非営利活動法人東京シューレ第19期事業年度（自2017年4月1日至2018年3月31日）の会務および事業・活動は、法人の目的にそって適正に行われたものと認めます。

以上の通り報告いたします。

2018年 5月 12日

監 事 牧野 恵 

2018 年度（第 20 期）事業の重点と計画

■ 1 重点目標と基本計画

〔重点目標 1〕 会員増、ニーズの高まり、スペース増や事業の拡大に対応する適正なスタッフ体制や環境づくりを行います。

- 常勤スタッフ 3 名の新規採用
- サポートスタッフ体制継続（計 6 名 王子 2、新宿 2、大田 1、流山 2）
- 公益財団法人石橋財団助成 東京シューレ「フリースクールスタッフ養成プログラム」事業（新規）をとおしてインターン 2 名を採用・養成（2018 年 9 月～2019 年 8 月）

〔重点目標 2〕 教育機会確保法や文科省の施策に対応する取り組みを推進していきます。

- 年度間は義務教育年齢の受け入れに重点を置き、活動・学習を充実（フリースクール初中等部、ホームシューレ小中学生）
- 教育委員会・学校等との連携推進、協働事業や委託事業等の取り組み（北区政策提案協働事業、世田谷区ほっとスクール運営委託事業など）
- 会員在籍校との連携強化・担任説明会開催
- フリースクール全国ネットワーク、実現する会等と連携し、公民連携、実践交流、法の見直しなどの推進

〔重点目標 3〕 一人ひとりの多様な状況や個別性にそった学び・活動づくりを推進する

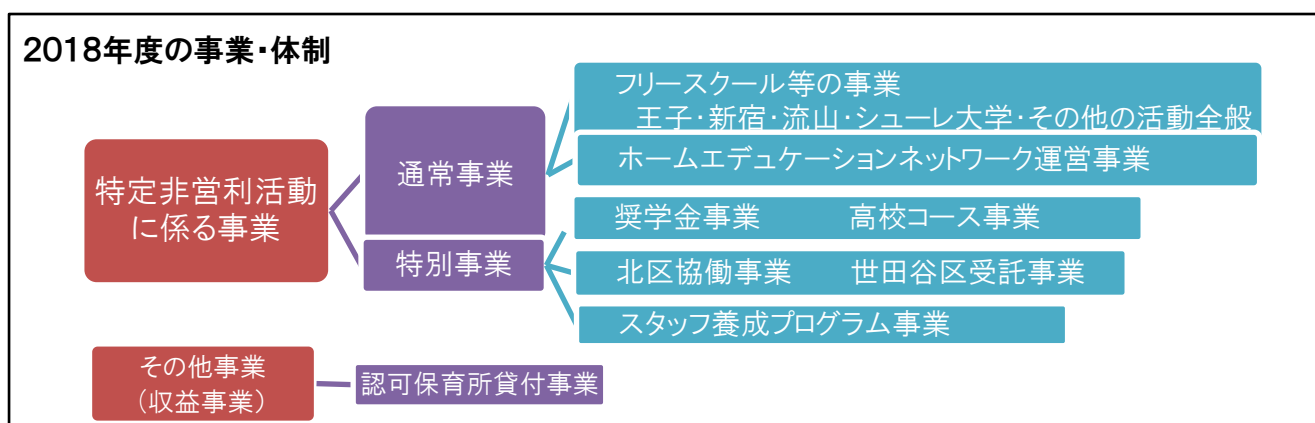
- 家庭（学校以外の学習の場）での学びやホームエデュケーション家庭のつながりを広げる取り組み
- フリースクールチュートリアル、個別タイムの実施

〔重点目標 4〕 大田建物新築・フリースクール東京シューレ大田を開設し軌道に乗せる

- 1 年目で 30 名規模のフリースクールとしての体制の確立
- 大田区の地域・行政・NPO 市民団体等との関係構築

〔重点目標 5〕 組織基盤強化、運営基盤強化の取り組みを推進する

- 定款変更（事業の種類）と大田シューレ理事の選任
- 東京シューレの発信力の強化（ブランディング、広報、情報発信ツールの整備など）
- 東京シューレへの支援者、参画者の拡大
- ファンドレイジング強化（寄付の拡大、ハマダ基金助成による募金のしくみ構築）
- 新宿若松スペースでの事業継続確保に向けた取り組み
- 企業・行政・NPO 等との連携・協働の推進
- スタッフの働き方や待遇の改善（休暇や手当、退職金制度の改善）



■ 2 役員の体制

役職	氏名	所属および主な関係団体の役職
理事長	奥地圭子	学校法人東京シューレ学園理事長、登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク代表理事、登校拒否を考える会代表、全国不登校新聞社代表理事、フリースクール全国ネットワーク代表理事、多様な学び保障法を実現する会共同代表、
副理事長	牧野泰美	新宿シューレ会員（高等部）、王子OG保護者
理事・事務局長	中村国生	事務局・王子シューレスタッフ、東京シューレ学園理事
理事	大橋泰之	王子シューレ会員（高等部）保護者
理事	立山剛	王子シューレ会員（初等部）保護者
理事	京藤裕子	王子シューレOB保護者、ホームシューレ会員保護者
理事	下村洋子	王子シューレOG保護者
理事	佐藤信一	王子シューレスタッフ
理事	大豆生田千夏	新宿シューレ会員（高等部・高校コース）保護者
理事	西明子	新宿シューレ会員（高等部・高校コース）保護者
理事	倉原香苗	新宿シューレスタッフ、(株)創造集団 440Hz 監査役
理事	池田あつ子	流山シューレ（旧 柏の葉シューレ）OG保護者、ホームシューレ保護者
理事	帯津葉子	流山シューレスタッフ、ネモチば不登校・ひきこもりネットワーク理事
理事（新任）	野村芳美	大田シューレスタッフ、大田シューレ会員保護者
理事	中島泉	ホームシューレ会員保護者
理事	矢嶋康平	ホームシューレスタッフ
理事	山本さゆり	シューレ大学学生父母
理事	朝倉景樹	シューレ大学スタッフ、東京シューレ学園理事、(株)創造集団 440Hz 取締役
理事	木村砂織	東京シューレ学園理事・校長、日本子ども NPO センター理事、全国不登校新聞社理事
理事	藤田岳幸	東京シューレ葛飾中学校スタッフ
監事	安村長生	公認会計士、NPO 法人 NPO 会計税務専門家ネットワーク顧問
監事	牧野恵	ホームシューレ会員保護者

■ 3 スタッフの体制

（サ）：サポートスタッフ、（非）：非常勤スタッフ

- 王子シューレ・・・ 奥地圭子、佐藤信一、浅野意作、勝野有美、萩原美奈子、今井睦子、涌坂基平、中村国生
ケリブランドン（サ）、福間悠理（サ）、後藤史彦（非）
- 新宿シューレ・・・ 倉原香苗、松尾和俊、石垣慧、今井睦子
福間悠理（サ）、海老澤彩香（サ）、浅岡千佳（サ）、土橋啓之（非）
- 大田シューレ・・・ 奥地圭子、野村芳美、浅岡祐輔、福間悠理（サ）
- 流山シューレ・・・ 帯津葉子、原野有理（サ）、本田真陸（サ）
- ホームシューレ・・・ 本間周子、矢嶋康平、海老澤彩香（非）、浅岡千佳（非）
- 高校コース(札幌自由が丘学園三和高等学校)・・・
フリースクールコース：（王子）佐藤信一、（新宿）松尾和俊、（流山）帯津葉子
ホームシューレコース：矢嶋康平 教務担当：佐藤信一、勝野有美、本間周子、
- シューレ大学・・・ 朝倉景樹、今田万美子、瀬川嘉之(非)、津田園女(非)
- 全体・本部・事務局・・・奥地圭子、中村国生、森美智代、勝野有美、山口幸子（非）

■ 4 委員会等の体制

設置委員会：財政委員会、給与待遇改善委員会、ファンドレイジングチーム、ブランディング委員会、PC ネットワーク等委員会、東京シューレグループ連携会議